

あたたかな春風に誘われて、校庭の桜のつぼみもほころび始めました。

卒業生の皆さん、中学校卒業おめでとうございます。みなさんの中学校卒業を、学校長として、最大限の言葉でお祝いします。ご参列いただきました保護者のみなさま、お子さまの卒業、おめでとうございます。心からのお祝いを申し上げます。

さきほど本年度卒業生一人ひとりに中学校教育課程を修了したことの証となる卒業証書を授与いたしました。卒業証書を受け取るみなさんの顔には、義務教育九年間の学びを得て、立派に成長した自信と誇りが感じられました。本年度の深谷中学校卒業生は、116人です。開校10年で深谷中学校の卒業生は、七四〇〇人となりました。

卒業生のみなさんは、小学校から始まった義務教育の全ての教育課程をすませて、今日という日を迎えています。10年前のことを覚えていますか？初めての小学校、何もかもが新しく、先生や友だちと始めた小学校生活。6年間の小学校生活では、集団の中での生活の仕方を中心に、勉強や友だちとの交流を深めました。

中学校に進学してからは、それまでの友だちに加えて、さらに新しい友だちに出会い、学校では、教科ごとに専門の先生が担当して学びも進化するという経験も重ねました。

『心身を鍛え、自ら思いをもって、生き抜く！』という深谷中学校目標の実現に向け、日々の生活を友だちと共にまじめに送る姿は、本当に輝かしいものでした。みなさんが友だちと一緒に過ごした時間の中で、感じたこと、考えたこと、手に入れたものは、たくさん、たくさんあったことでしょう。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響で修学旅行はじめ様々な学校行事が中止になり、中学校生活での貴重な経験を思う存分させてあげられなかった事をとて残念に感じています。さらに高校受験が終わった後も、中学校で学ぶべきものを身に付けてもらうため最後まで午後も授業をするという学校の方針を守って授業を受け続けたことも、立派でした。

この三年間は、大変短く感じたと思いますが、みなさん一人ひとりは確実に成長し、開校四十周年を迎えた深谷中学校の歴史に確かな足跡を残してくれました。

世界中が新型コロナウイルスに翻弄され始めてから一年以上が経過しました。まだしばらくは、人類がコロナと共存する日が続きそうです。つい1年ほど前までは、世の中はどんどん発展して豊かになっていくものだ、との思いが強かったものです。その思いや価値観を、まさに新型コロナウイルスがひっくり返してしまいました。物に満たされていた賑やかな時代から、少し静寂の時代へと移り変わってきている、と捉えることが出来ます。しかし、そのような状況だからと言って何もネガティブになることはありません。朝会や学校便り等でみなさんに訴えてきましたが、こういう時こ

そ、何事も前向きに考えて知恵を出し合って行動することが大切ではないでしょうか？

『ピンチはチャンス！』

物事の見方を変えれば、今回のこの出来事は、新しい時代への変革を予言しているのかも知れません。この経験は、みなさんのこれからの長い人生の中で大きな学びとなることでしょう。そして必ずやみなさんの人間としての幅を広げてくれることでしょう。

中学校を卒業して、それぞれの道を歩き始めることになりましたが、今までと同じように周囲と気持を一つにして、この困難を乗り越えていきましよう。

卒業にあたり、もう一つお話しをさせて頂きます。それは、『他人に対して優しい人間になって欲しい』ということです。優しさは強さです。本当に強い人とは、他人に対して優しくなれる人だと、私は信じています。他人の欠点ばかりを責めたり、他人を押しつけて自分の利益を最優先に考えたりする最近の世間の風潮には、愛を感じずにはいられません。

みなさんも、これまでの学校生活でつらい経験をしたことがあったでしょう。実は、自分がつらい経験をした人ほど、他人の苦しさがわかるのです。他人のつらさがわかる分、同じ境遇の他人に対して優しくなれるはずですよ。△月からの新しいステージでも、もしかしたら自分自身がつらい思いをすることが待ち受けているかも知れません。その時は、深谷中学校の卒業生として、これまで乗り越えてきた経験を生かし、たくましく、そして他人には優しく接してください。他人に対して優しさをもった人間には、困った時には必ずや手を差し伸べてくれる誰かが現れるはずですよ。

保護者のみなさまへ。

改めましてお子さまの中学校卒業、おめでとうございます。お子さまの在学中、深谷中学校の教育活動にご理解ご協力を賜りましたことに心から感謝いたします。

先ほど、お子さまにはお話ししましたが、こういう困難な時代だからこそ、みんなで知恵を出し合って、その困難を乗り越えることの大切さを、この一年、訴えてきました。お子さまは、さまざまな困難を乗り越えて立派に成長されています。

昨年の卒業式は、保護者をお迎えできなかったという事態になりましたが、今年度は、感染予防へのご協力をいただきながら、保護者のみなさまの参列のもとに、式を挙行するという決断をいたしました。このような形で式を挙げられることを、大変うれしく思っております。

なお、本日は昨年まで校長を務められた山本一恵先生から、卒業生一人ひとりにお祝いの品をいただきました。また、地域の自治会町内会の方々からも、お祝いのお言葉をいただいております。またPTAの保健美化委員の方々が植えていただいたパンジーなどの花々が、見ごろを迎えました。感謝いたします。ご紹介させていただきました。

いづくしみ育まれたお子さまは、このように多くの方々に見守られて、義務教育を修了し、新たなステージに立ちます。お子さまの人生はこれから本番です。お子さま、ご家族のみなさまの益々のご健康とご健勝を本日の佳き日にお祈りいたします。

卒業生のみなさんは、十年後の令和十三年（二〇三一年）三月の第四日曜日の朝、ここ深谷中学校に集まることになっているのですね。その時に開けるタイムカプセルに入れておく手紙を書いたと聞きました。十年後のみなさんは、どのような大人になっているのでしょうか？きつと立派になっていることでしょう。想像するだけでも、いまからワクワクしてきます。集まるその日を忘れずに、これからも元気で過ごしていつててください。

深谷中学校はみなさんの母校です。みなさんの輝く未来に向かって、ここ深谷中学校で過ごした日々の経験を心の糧にして、胸を張って誇り高く、羽ばたいて行ってください。みなさんの前途に幸多かれと祈りながら、私からの結びの言葉です。

卒業おめでとう！ そして、行ってらっしゃい！令和三年三月十一日 横浜市立深谷中学校長 榎田卓央

